

平成18年(2006年)11月1日発行



2007年6月の学園創立100周年まであと8ヶ月。百年記念館や年史など、現在進行中の記念事業の多くが、いよいよ最終段階へと進みつつある。左は、無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした100周年記念シンボルマーク。

●ビジネスプランコンテスト優秀賞受賞者とビジネスプラン

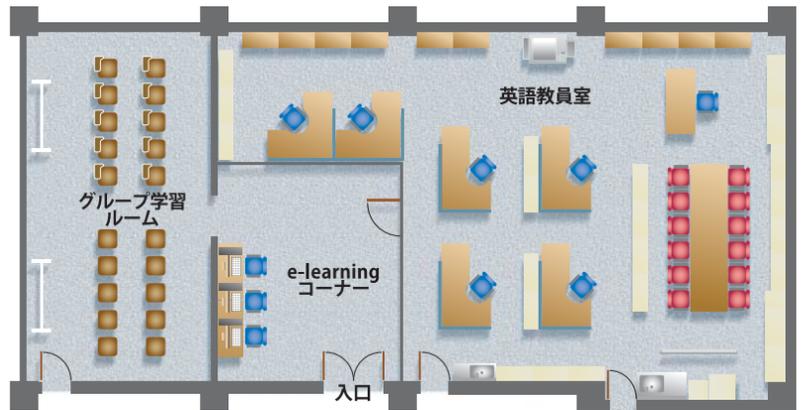
氏名(代表)	プラン名	最終判定	共同応募者
芳賀 彰	親切!丁寧! わかるまでとことんパソコン教えます!	優秀賞	平田裕司・本橋康彦
瀬尾 祐輔	教育機関向けの社会的地位向上ビジネス	優秀賞	
浅野 浩志	SVO車のためのてんぷら油スタンド	優秀賞/MOT賞	
佐々木 貴紀	半導体エピタキシャル基板の製造販売、受託分析評価事業の提案	優秀賞	伊藤晃・金聖祐
沼口 政樹	保証期間の過ぎたPCのリファインサービス	優秀賞/学長賞	木村哲也
根岸 治	マイクロパブリッシャーの販売	優秀賞	
室谷 裕佳	環境に配慮した自転車のかご	優秀賞	池添翔

9月2日、産学連携起業教育センターが主催する「学生起業家育成支援プログラム第1回ビジネスプランコンテスト」表彰式が開かれた。この事業は、学校法

人日本工業大学創立100周年記念事業の一環として行われているもので、7月10日の応募締め切りまでに68件の応募があった。書類審査により選ばれた22件が、学長賞、MOT賞、産学連

第1回 ビジネスプランコンテスト実施

10月から工学者のための英語教育を前面に打ち出す  
英語教育センタースタート



10月より、従来の共通系英語研究室が改組され、英語教育センターとしてスタートした。近年の卒業生のアンケートでは、「在学中にもっと語学を学んでおけばよかった」という声が多いが、このような要望にこたえるためにも、教育を重視した新体制に期待することが多い。またセンター化の大きな目的の一つとして、工学者のための英語教育を前面に打ち出している。新任のセン



岡田センター長

今回は、本学として初の試みであったが、予想以上に多くの学生が応募し、本学学生の起業やベンチャーへの意欲が高いことを感じさせてくれた。

『結~yui~』で結束!

第38回

11月3日(金)・4日(土)・5日(日)開催

若杉祭



昨年の若杉祭より：上段左・模擬店(方言愛好会)、上段右・美男子コンテスト入賞者、下段左・材料工学研究室の研究発表、下段中・音楽系サークルのLIVE、下段右・秀麗展

卒業後30年、20年、10年の皆様へ  
11/4 第7回 ホームカミングデー開催  
ホームカミングデーが、10年毎の節目の皆さんには、是非参加をしていただきたい。卒業後、ご家族連れでの参加も歓迎される。

11月3日~5日、若杉祭が開催される。会期中、3日(金)には第1回ビジネスプランコンテスト研修報告会、4日(土)にホームカミングデー、5日(日)には建築設計コンペの表彰式が行われ、工業技術博物館の特別展、生涯学習センターの作品展なども同時開催。学園をあげて多彩な催しが繰り広げられる。

ター長には、英語教育の実施には全く経験を持たないが、長年企業において英語を駆使して、海外を含めた業務に携わってきた岡田修身氏(工博)にお願いしたという異色の人事である。1号館1階西側端の4室を一体化して完成したセンターは、本学英語教育の中心であり、学生にとっては何か英語に関して困ったと

平成18年度 第16回 特別展

東京が地場産業の金属製日用品

金属製品をつくる手法で最も歴史が深い「鑄造」について取り上げます。明治時代に東京下町で始まり昭和50年頃まで外貨獲得に貢献したアンチモニー製品(土産物・飾り物)と、その後発展した各種精密鑄造技術の歴史と生産技術を紹介いたします。

東京で鑄造されたアンチモニー製 ニューヨーク土産



展示内容  
『鑄造の歴史』・『精密鑄造技術』・『鑄造製品』・『体験コーナー』の4分野に分類して、展示を実施。特に、今回展示される戦後に製造されたアンチモニー製品は、当時の経済復興の様子をもの語る貴重な資料です。

- 開催期間 11月3日(金)~25日(土)
- 場所 工業技術博物館2階展示場
- 入場料 無料
- 主催 日本工業大学 工業技術博物館  
Tel. 0480-33-7545(直通)  
E-mail museum@nit.ac.jp  
特別展会期中に展示内容に関連する特別講演会を開催します。

当日は10時30分から受付、11時から博物館・各センター等の見学ツアー、15時から、懇親パーティーを行う。大好評の抽選会では盛り沢山の景品を用意。是非とも旧友や現旧教職員と楽しいひと時を過ごしていただきたい。(ホームカミングデー実行委員会・上野貴博)



カレッジマイスターの作品を見学するOB

恒例となった「若杉祭」は今年で38回を数え、年々盛大なものになっている。今回の若杉祭のテーマは「結~yui~」である。このテーマには点と点を結ぶという意味があり、点とは人々のことを意味している。つまり家族や親戚という枠を越え、沢山の人たちが同じ目標や気持ちを持ちあわせて大きなことを成功させたという願いが込められている。私達、大学祭実行委員会メンバーは、若杉祭にお越しいただいた来場者の方々と、参加団体の皆様とひとつになり、より一層盛大なものにするため、準備を進めてきた。

初日は11時の「オープニングセレモニー」でスタートし、「パシバシユカイ」「おかまカップ」「クイズbicycle」「初夜祭」「wind tunnel」が続く。2日目は「演舞会」「ダンス大会」「食自慢をプロデュース」など、今年も近隣の小学生を対象に「自分の大切なもの」をテーマに絵画を募集した。期間中は会場一角に展示するので、企画とともにご覧ください。最後になりませんが、今までの若杉祭となるよう精進しております。ぜひご来場ください。大学祭実行委員会一同、心より皆様のご来場をお待ちしております。(大学祭実行委員会委員長・柴田直樹)

日本工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程  
●機械工学専攻 ●電気工学専攻 ●建築学専攻 ●システム工学専攻 ●情報工学専攻

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集! (日本工業大学 社会人特別選抜)

■平成19年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

出願期間	試験日	試験内容	合格発表	入学手続締切
二次募集	2月14日~2月21日	書類選考・面接	3月5日	3月13日

願書のご請求およびお問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係 TEL0480-33-7507(直通)

願書のご請求およびお問い合わせ先  
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学教務部 入試室  
☎0120-250-267 TEL: 0480-33-7676(直通)  
URL: http://www.nit.ac.jp/ E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

日本工業大学 平成19年度入試日程

今回からセンター利用入試が導入されました

日本工業大学 工学部

●機械工学科 ●電気電子工学科 ●建築学科 ●システム工学科 ●情報工学科

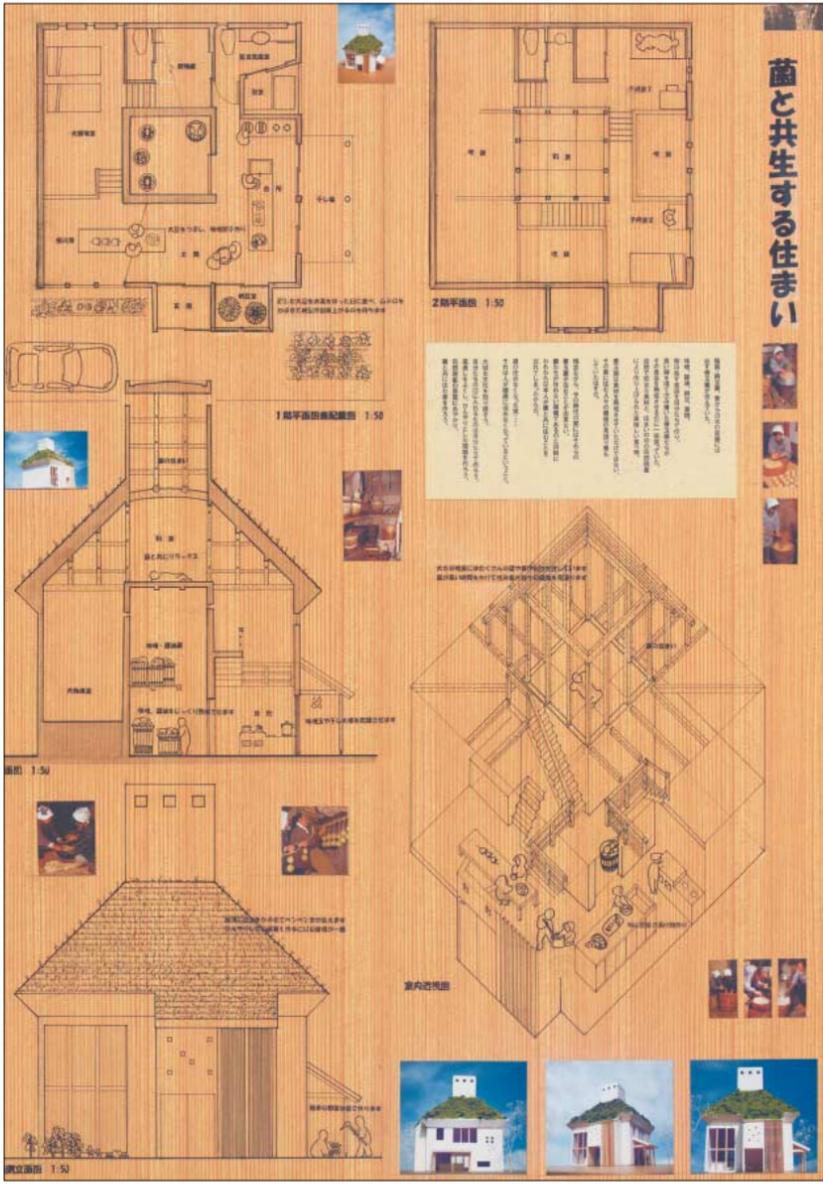
入試種別	出願期間	試験日	試験内容	合格発表	入学手続締切
一般入試	1月4日~1月27日	2月3日 2月4日 2月5日	・数学I、II ・物理I ・英語I、II、リーディング、 オーラル・コミュニケーションI (受験日自由選択制) *上記のうちから任意の2科目を選択	2月10日	2月19日
センター利用入試A	1月4日~2月3日	2月10日	数学・理科・外国語の3教科14科目のうち2教科以上選択して、かつ1教科あたり1科目以上を選択	2月10日	2月19日
センター利用入試B	2月19日~3月2日	3月10日		3月10日	3月19日
社会人入試	1月4日~1月18日	2月4日	書類審査及び面接 書類審査による第一次試験の合格者のみが受験可能。第一次試験の合格発表日は1月20日	2月10日	2月19日
帰国子女入試	1月4日~1月27日	2月3日	書類審査及び面接	2月10日	2月19日
AO入試(第2期)	11月24日~12月4日	12月9日	課題への取り組み、面談	12月16日	12月25日
AO入試(第3期)	2月26日~3月10日	3月16日		3月23日	3月28日

# 第20回 建築コンペ

## 情熱とエネルギーが伝わる258点の作品

# 74校より応募「家の中の自然現象の中の家」

### 1等 渡瀬 眞大さん 受賞作品



### 受賞のことは

## 建築への「夢」が現実

兵庫県立神戸工業高等学校 建築科

渡瀬 眞大



この度は1等に入選させて頂き本当にありがとうございます。興奮冷めやらないまま、この喜びを文章にまとめる中で実感がこみ上げてきました。僕は定時制

の建築科に通っています。朝早くから夕方4時半まで漬け物工場で仕込み仕事をした後学校に通学します。昨年の入学式の時、一人の先生がよくぞコンペ最強校に入学してきた！すばらしい建築学を学んで先生と共に「夢」を見ようと熱く語ってくれました。自分には全く縁のないことだと思っ

### ●佳作

兵庫県立神戸工業高等学校

大阪市立工芸高等学校

滋賀県立安曇川高等学校

群馬県立館林商工高等学校

静岡県立静岡工業高等学校

滋賀県立安曇川高等学校

滋賀県立彦根工業高等学校

### ●奨励学校賞

群馬県立前橋工業高等学校

埼玉県立春日部工業高等学校

滋賀県立彦根工業高等学校

大阪府立立工芸高等学校

愛媛県立東予高等学校

## 日本工業大学建築設計競技入選者

- 一等 兵庫県立神戸工業高等学校 渡瀬 眞大
- 二等 静岡県立沼津工業高等学校 渡邊 俊輔
- 三等 三重県立四日市工業高等学校 成田 健士朗

### ●審査員賞

兵庫県立龍野実業高等学校

東京工業大学附属科学技術高等学校

滋賀県立安曇川高等学校

滋賀県立安曇川高等学校

### ●奨励賞

福島県立二本松工業高等学校

滋賀県立彦根工業高等学校

高知県立高知工業高等学校

群馬県立館林商工高等学校

青森県立青森工業高等学校

高知県立宿毛工業高等学校

群馬県立館林商工高等学校

静岡県立静岡工業高等学校

福岡県立福岡工業高等学校

兵庫県立豊岡総合高等学校

場所として芝屋根の屋根裏や、光の入らない味噌、醤油蔵が住宅の中心に計画されているわけです。菌はあまり目に見えないものですが、それが好む場所が用意されることによって、気配というものが生まれます。それは「神様が山に住んでいる」というのと同じで、人間とは異なる見えない主体との場所を通じた交感の物語といえます。実はこうした物語が提案の全体を支えるためには重要で

す。2等の渡瀬案は、光が家の中の主体の一つに数えられていきます。光は時間によっても、季節によっても変化しますから、いっそう生き物のように感じられるのかも知れません。この案は面白い開口が無数に開けられた大きな家型の覆いの中に、小さな箱が二個入れ子状に格納されていて、そのスキマに光が戯れるようになっていきます。3等の成田案は「おばあちゃん公園」と題するように、一人暮らしのおばあさんの住まいを最小限の大きさにし、残りを公園とする提案です。その企画面面白さにつられて

読んでみたのですが、北側斜面や、光の反射の特徴を丁寧に拾った部分は、家の外に主に見られるところが惜しいと思いました。全ての作品にコメントすることができないのが心残りですが、皆さんの作品にかけた情熱、エネルギーを審査を通して感じる事が出来たのが、何よりも一番嬉しかったことです。「家の中の自然現象の中の家」は、ずっと考え続けられるテーマです。私も継続して取り組んでいきますので、皆さんも是非続けて考えていただいて、「生き生きとした空間」を実践していただければいいかと思えます。

## 今回のテーマは「生き生きとした空間」を実践するための実験。 継続して考え続けてほしい。

### 講評

私が建築をはじめたからという実験です。どんなかざっと考えていることは、たち、イメージ、物語がどうしたら生き生きとした空間を実現できるのか、どんな計画、企画、運営が構構かということ。そして少しかわかってきたのは、生き生きとした空間を実践するための道具は実は色々あって、しかもそれらはもともと建築に備わっている、あるいはそのまわりにあるものだという事です。それらを列挙すると、かたち、イメージ、物語、計画、企画、運営、主体、身体、自然といったものです。それらが、それぞれ少しずつ違う立場から、生き生きとした空間の実践に欠かせない貢献をするのです。



### 塚本由晴

(建築家・東京工業大学大学院助教授) 1965年・神奈川県生まれ。87年・東京工業大学工学部建築学科卒業。87-88年・パリ建築大学ベルビル校(U.P.8)。90年・東京工業大学大学院修士課程修了。92年・貝島桃代とアトリエ・ワン設立。94年・東京工業大学大学院博士課程修了、博士(工学)。主な作品に、アコハウス(2005年)、ジュシー・ハウス(2005年)がある。

今回の課題は、そんな考え方の中で、試みに家の中の自然というものを、プロジェクトを牽引するものとして扱ったらどんな生き生きとした空間ができるか、

1等の渡瀬案は、「菌と共生する住まい」というタイに子供部屋があるように、菌が好みそうな暗い涼しい

# 平成十八年度 秋季学位記授与式・入学式



学位記授与式で祝辞を述べる大川理事長



入学式で祝辞を述べる柳澤学長

平成18年9月20日、平成18年度秋季学位記授与式と留学生別科修士論文審査式が情報工学科実験棟5階会議室にて挙行された。この日卒業(修了)したのは、学部68名、大学院博士前期課程1名、留学生別科19名である。この修了生のうち、本学の学部または大学院に10名が入学した。

式には佐伯後援会会長、渡辺工友会会長らも出席し、後援会からは卒業生らに記念品が贈られた。また、大川理事長からは祝辞が贈られた。

10月1日には秋季入学式が挙行され、学部17名(編入学を含む)、大学院博士前期課程4名、博士後期課程2名が新たに大学生活をスタートさせた。

これに併せて、留学生別科の入学式も挙行され、現在のところ、54名が入学許可を受けている。

## 第39期決算・第40期予算 日本工業大学の財政状況について

一・はじめに

第三九期決算、第四十期予算が公認会計士及び法人監事の監査を受け、法人理監事・評議員会で承認決定されましたので、ここに財務諸表を公表し、関係各位のご理解と引き続きのご協力をお願いする次第です。

平成十九年度(二〇〇七年)には、少子化傾向が益々進み大学進学希望者数と大学合格者数が同じになる大学全入時代を迎えます。本学を含め私学を取り巻く環境は大変厳しいものとなっており、既に四年制私立

大学の四十%が定員割れを起しています。本学では定員を超える応募をいただいており、厳しい状況には変わりなく、更なる経営努力と、学内外からより高く評価される教育研究の推進に向けた改革に、邁進して行きたいと思っております。

本年度は、学生の教育支援体制の強化として英語教育センターを設置し、英語教育の充実にも努めます。また、継続して行われている教育プログラム「工房教育・カレッジマイスターの育成」

二・平成十七年度 決算について

学校法人会計基準に基づき主たる財務諸表には次の三表があります。①全ての資金の流れとその期末を示す「資金収支計算書」(別表1)、②各年度における収支の均衡状態や財政の健全さを見る上での指標となる「消費収支計算書」(別表2)、③決算時点における財政状態を明らかにした「貸借対

照表」(別表3)の三表です。また(別表5)にて「消費収支計算書主要項目の分析表」を添付いたしましたので、詳細につきましては別表をご参照ください。

○収入の部

学生生徒等納付金は、前年度比五千五百円の微減、手数料収入も千四百円の減少となりました。基本金組入額は前年度の一時増加要因を除いて例年同様の金額となりました。

三・平成十八年度 予算について

平成十八年度予算書の詳細は(別表4)のとおりであります。主たる収入である学生生徒等納付金収入は、前年度も学費据置きとし、学生数も絞込んだ予算といたしました。寄付金は、総額十億三千七百円の規模となりました。

○支出の部

人件費は前年度比一億五千五百円の増加となりましたが、これは退職金支出の増加によるものであります。教育研究経費は、昨年度並みの予算となっております。施設関係支出は、百年記念館の建設費用が含まれております。

## 「きらりびとみやしろ」と相互支援協定を締結



開発に取り組む学生の姿

本学では、けいひ活動を支援するコンピュータ・ソフト等の開発・維持を全面的に支援することとなり、その他の支援活動を含め10月27日に相互支援協定を締結、調印式を行いました。

この支援活動は、既に本年4月より情報工学科・大木幹雄教授の指導のもと「情報工学総合実験」の授業を利用して、13名の学生が開発に着手している。学生にとって、実際の福祉現場で役立つという明確な目標があることで、本学の育成の生きた教材となる。



オープンエアで楽しいパーティー

多感な学生時代に 貴重な経験

平成18年度英会話カナダ特別セミナーが8月20日から9月14日まで10名の学生参加により、大きな事故もなく無事終了した。

学生達は、カナダの一般家庭にホームステイをし、UBC(ブリティッシュ・コロンビア大学)で英会話を学び、国際感覚を養うと同時に大自然の中でカヤック、サイクリング等の課外活動も行い、楽しい一時を過ごすことができた。

授業はもちろんのこと、普段の生活等に対し、当初は戸惑う姿が目にしたが、毎日英語を聞き、耳が英語の音に慣れてくるとホストファミリーの話が随分と分かるようになった、言いたいことが前より言えるようになったと授業の成果を誇らしげに語る姿が目についた。参加者全員がリスニング能力の向上と、自分の英語に自信を持てるようになり、積極的になったと感じた。

短期間とはいえ、学生にとって英語だけの生活に身を置くことは、今後の人生において貴重な経験となったと思う。

(就職支援課 塩入修)

## 秋学期は活動のピーク

大学院技術経営研究科 研究科長 村川 正夫

オープンキャンパス(OC)は、是非とも多数の方が参加し、入学へと結実すること。本年度はOCが4回開催される。1回目は7月15日に好評を博して終了した。11月4日に2回目終了の後、12月2日に3回目の入試(12月2日)である。OCの企画は山岡教授を中心として知恵を搾っている。更なる卒業生、現院生(二期生)にも協力を頂いている。

2006年度 専門職大学院オープンキャンパス日程

2006 11/4(土)・12/9(土)・2007 2/10(土)

いずれも13時30分から

シンポジウム、説明会、キャンパスツアー、授業見学等を予定しています。

\*開催日の1週間前迄に予めお申し込みください。  
お申し込み先: 日本工業大学 専門職大学院  
TEL:03-3511-7591 FAX:03-3511-7594 E-mail:mot@kanda.nit.ac.jp

2006年度 専門職大学院入試日程

	第1回募集	第2回募集	第3回募集
出願期間	平成18年10/30(月) 平成18年11/28(火)	平成18年12/25(月) 平成19年1/30(火)	平成19年2/5(月) 平成19年2/28(水)
試験日	平成18年12/2(土)	平成19年2/3(土)	平成19年3/4(日)
合格発表	平成18年12/7(木)	平成19年2/8(木)	平成19年3/8(木)
入学手続締切日	平成18年12/19(火)	平成19年2/20(火)	平成19年3/17(土)

(別表3) 貸借対照表 単位:千円

科目	資産の部		増減
	H17年度	H16年度	
固定資産	32,338,696	30,969,319	1,369,377
有形固定資産	20,785,236	21,566,154	△780,918
その他の固定資産	11,553,460	9,403,165	2,150,295
流動資産	5,446,288	5,727,601	△281,313
合計	37,784,984	36,696,920	1,088,064

(別表4) 資金収支計算書 単位:千円

科目	H18年度		増減
	H18年度	H17年度	
収入の部	6,477,698	6,721,752	△244,054
学生生徒等納付金収入	52,380	65,757	△13,377
手数料収入	91,780	84,300	7,480
寄付金収入	357,430	619,178	△261,748
補助金収入	14,200	7,900	6,300
資産運用収入	62,809	47,841	14,968
事業収入	157,612	227,674	△70,062
雑収入	820,000	0	820,000
前受金収入	2,032,840	2,701,473	△668,633
その他の収入	845,803	394,168	451,635
資金収入調整勘定	△2,265,087	△3,004,276	739,189
前年度繰越支払資金	5,052,171	5,460,263	△408,092
収入の部合計	13,699,636	13,326,030	373,606

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	H17年度	H16年度	増減
補助金/帰属収入	7.46	7.70	△0.24
人件費/帰属収入	39.32	37.37	1.95
教育研究経費/帰属収入	36.49	35.99	0.50
管理経費/帰属収入	4.75	4.72	0.03
借入金等利息/帰属収入	1.46	1.63	△0.17
人件費/学生納付金	46.34	43.82	2.52

(別表1) 資金収支計算書 単位:千円

科目	H17年度		増減
	H17年度	H16年度	
収入の部	7,080,758	7,132,209	△51,451
学生生徒等納付金収入	60,880	75,445	△14,565
手数料収入	144,271	124,177	20,094
寄付金収入	622,518	644,272	△21,754
補助金収入	48,605	19,892	28,713
資産運用収入	70	0	70
事業収入	50,407	52,177	△1,770
雑収入	314,105	185,819	128,286
借入金収入	740,000	0	740,000
前受金収入	2,265,087	3,004,276	△739,189
その他の収入	386,674	1,307,696	△921,022
資金収入調整勘定	△3,359,653	△3,310,620	△49,033
前年度繰越支払資金	5,460,263	5,195,219	265,044
収入の部合計	13,813,985	14,430,562	△616,577

四・むすび

東京神田に開設しました専門職大学院も二年目を迎えております。百年記念館も順調に建設が進んでおります。大学が存続・発展していくためには、学生、ご父母、卒業生の皆様のご理解が不可欠であります。これらも関係各位の皆様のご協力を得て、「特色ある教育」「実践的工業教育」を展開して参る所存ですので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。(財務部)

